



安岡地区複合施設整備事業基本構想（概要版）

～ 安岡地区複合施設整備事業について基本構想を策定いたしました ～



1. 現状と課題

【安岡公民館・安岡支所】

○安岡公民館・安岡支所は、建築後 50 年以上が経過して老朽化が著しく、耐震性もありません。また、指定緊急避難場所及び指定避難所に指定されていますが、友田川の浸水想定区域に該当していること等から、地震・高潮・洪水の際には避難所として使用することができません。



（老朽化が進む安岡公民館）

【園芸センター】

○園芸センターは多くの建物で構成されていますが、最も古い建物は築 60 年を超えるほか、事務室など主要な建物も築 40 年～50 年となって、更新時期を迎えています。

【北部図書館（仮称）】

○安岡地区を含む北部地区（勝山、内日、川中、安岡、吉見支所管内）においては、これまで図書館は未整備でした。「第 2 次下関市総合計画前期基本計画実施計画」では、「北部図書館整備事業」が掲載され、北部地区への図書館整備等を推進することとしています。

【事業の方向性等】

○安岡公民館・安岡支所の移転改築を中心とする事業の実施にあたっては、施設の複合化などの手法によって施設面積の適正化と効率的な維持管理を図ると共に、積極的に民間の資金やノウハウを活用していきたいと考えています。

○公民館を始めとする複合施設を整備する場所としては、面積や安全性の面から、園芸センター敷地が最も適していると考えられます。

2. 検討の経緯と今後の予定

検討にあたっては、自治会やまちづくり協議会など地域の方のご意見や、アンケート・ワークショップでいただいたご意見等を参考としながら、安岡地区複合施設整備事業基本構想をまとめました。

今後のスケジュールは、どのような事業手法を用いるかによって大きく異なってきますが、PFI による手法を採用する場合には、令和 3 年度(2021 年度)に PFI 事業者を公募し、令和 4 年度(2022 年度)に事業着手、令和 6 年度(2024 年度)の施設完成を目指します。

3. 基本コンセプト

安岡地区複合施設整備事業においては、園芸センター敷地が持つポテンシャルを最大限に活用しながら、安全で安心な施設を整備し、まちづくりにつなげていきたいと考えています。

この基本的な考え方を念頭に、各施設の現状や課題、地域の方のご要望、事業者の意見、公共施設マネジメント基本方針等を参考として、次のとおり基本コンセプトを定めました。

緑あふれる多世代交流型コミュニティ空間の創造

4. 事業の概要

ア. 園芸センター敷地を利用して、集会施設、支所、図書館及び園芸センターが一体となった、安岡地区複合施設を整備します。東側（山側）のエリアは、公園等として活用することを検討します。



また、複合施設と周辺エリアを一体的に整備し、土地の合理的な利用による都市機能の効率化やコンパクトなまちづくりを検討します。

イ. 安岡公民館はコミュニティ施設に転換し、利便性の向上とコミュニティの拠点としての機能充実を図ると共に、多世代交流を活性化させる方策を検討します。

また、指定緊急避難場所・指定避難所として使用することを想定し、防災拠点としての機能確保を行います。

ウ. 安岡支所は引き続き機能を確保し、住民の利便性向上を図ります。

エ. 勝山、内日、川中、安岡、吉見支所管内を対象区域とする北部図書館（仮称）を整備し、新たな図書館サービスを提供できる方法を検討します。

オ. 園芸センターは規模を縮小するとともに機能を再編し、園芸普及のための講習会、講座、展示会・イベント等や、園芸相談を中心とした運営を行います。

カ. 上記ア～オの施設を複合施設として一体的に整備することにより、相乗効果による活性化を目指します。

なお、コミュニティ施設を中心として複合化した建物の延床面積は、現在の安岡公民館・安岡支所の面積（2,145.00㎡）を基礎として公共施設マネジメントにおける縮減目標（△30%）を勘案し、これに北部図書館（仮称）及び園芸センター機能の一部を複合化するために必要な面積を加えた、約2,500～3,000㎡を基準として検討を行います。また、施設全体についても、整備前の施設総量（5,733.02㎡）に比して縮減を図ります。

キ. 園芸センターの規模縮小により生じた土地についても、民間による活用を検討し、居住エリアの形成による交流人口の拡大を図っていきます。

ク. 民間活力の積極的な導入や民間資金の活用により、にぎわいの創出、民間ノウハウの活用、公的負担の軽減等を図ります。

事業方式としては、PFI事業をベースとして検討していきます。

ケ. 公共交通機関の利便性を確保するため、バス事業者・鉄道事業者等と必要な協議を図っていきます。



併せて、道路（県道、市道）などのインフラについて、必要な検討・整備を行っていきます。

コ. 整備事業を通じて、公共施設マネジメント基本方針に定める「施設の適正配置と施設総量の縮減」「施設の効率的かつ効果的な運営」を推進します。

※「安岡地区複合施設整備事業基本構想」全文は、
下関市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

編集：下関市総務部行政管理課

QRコードからアクセスする場合はこちら

